

# 日刊 動労千葉

80.3.10

No. 371

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
鉄電二三五八〇九(公巻) 電話二三七二〇七

その1

# 80春闘・大巾賃上げを勝ちとろう!

## 三里塚・反合同争の高揚に固く結合させ

賃上げ放棄・右翼再編へ雪崩うつ総評「民同労仲運動の破産をのり

こえ、三里塚敵対・反合放棄の動労本部革マルの敵対を粉碎して

### 自前の戦陣型構築をもつて、80春闘の高揚をきりぬこう

「三里塚労働連帯と80春闘勝利」を固く結合した二大課題をかかげて開催された32「80年代を闘う全国労働者集会」は、「四つの基軸と当面する二つの任務」(『日刊』多号参照)を柱とする鮮明な方針を確立し、画期的な成功を勝ちとった。

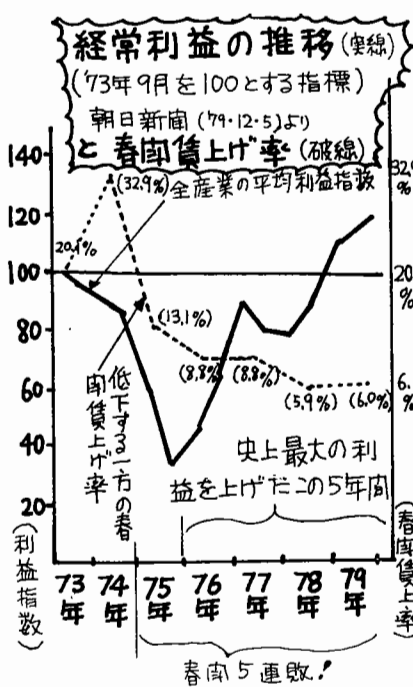
すぐる一年有余の組織路線をめぐる激烈な攻防戦に勝利したわけは、いよいよ始まる80春闘を、80年代の闘いの方向を左右する重要な分岐として位置づけ、過去5年間にわたる「連敗」を根底からくつがえし、80年代にふさわしい労働者階級・人民の戦う陣型をうち立て、生活防衛・体制変革の突破口をきりひらいていかなければならない。そのために以降何回かにわたって視点を特集していきます。

### 国難だ、ガマンせよ……と徹底した大衆収奪と軍事大国化方針

#### 政府・日経連の80年方針

(1)

①、「春闘を連敗」……に見られる労働者の賃上げ抑制の裏で、この5年間で、日本の大独占は次々と企業利益を増大させ、一九七九年には「戦後最大の大幅な上げ」をしている。



②、日経連は昨年12月5日に「80年春闘対策の意味を持つ『労働問題研究委員会報告』を発表し、日本経苦難の80年、左のり切るために、石油高騰や円安による消費者物価の上昇は外因によるものだから国民の全てが負担を負う必要がある、80年の賃上げ率は物価上昇率以下に抑える必要がある」と主張し、強引な実質賃下げを押しつけている。

③、この数年間の、史上最高の企業利益

をもたらしした要因は「円安による輸出の一時的大増進」(『日刊』)と主として徹底したスクラップアンドビルド型の(1)産業再編成(構造的不況産業を整理し、知識集約型・技術先端部門に集中投資し、大独占がこぞって、多国籍企業型への傾斜)海外侵略に殺到した。(2)減量経営と称する徹底した合理化・人べらしを強行したことによってもたらされている。主なものを上げると鉄鋼14%減(七十九名の首切り)、繊維11%減(十二万二千人の首切り)、造船17.6%減、木製品12%減とあいつぎ、昨年三ヶ月で完全失業者は一三五万人(失業率25%)に達した。そのため、この合理化に「国難」会社あつてこの労働者を叫んで率先協力していった「労資協調」の企業・組合での組織人員は大巾に落ち込んでいった。

「春闘を連敗」下の時期を中心に同盟(13万6千減)総評(4万減)、中立労連(7万4千減)、「いよいよ73の向に」という状況である。このような過酷な労働者への犠牲転嫁の上にはじめて「史上空前のぼろもつけ」の実態がもたらされたのである。日経連報告と大平内閣は、これを「労使一体の血みどろの努力」と美化し、80年代はもっと厳しい↓もっと努力を!と居直っているのである。80年予算等に顕著な底徹した大衆収奪と軍事大国化、国家企業防衛の絶叫はゆのけ、労働者の実力決起を勝ちとってこい。

(以下、つづく)